

# 年末年始及び旧正月の 家畜防疫対策の徹底を!!

高病原性鳥インフルエンザは、今シーズンはこれまでに最も早く発生が確認されました。現在発生リスクが高い時期を迎えており、飼養衛生管理の対策の再点検、「隙」を埋める対策が重要となっています。

アフリカ豚熱及び口蹄疫については、中国、韓国等の近隣国を含むアジア地域に広く浸潤しています。

また、今年11月には牛のランピースキン病の発生が今年11月に国内で初めて確認されています。

これから年末年始や旧正月(2025年1月29日)を迎え、人・物の移動が活発になり、様々な経路から病原体が侵入するリスクが高くなります。

## 防疫対策の徹底をお願いします

- ① 海外(アフリカ豚熱、口蹄疫等の発生地域や非清浄地域)への不要不急の渡航は自粛
- ② 肉製品等を日本へ持ち込まないよう周知徹底  
(特に技能実習生等の外国人従業員を受け入れている農場)
- ③ 農場における病原体侵入防止対策の徹底
  - 衛生管理区域に入場する人・車両・物品の衛生対策(洗浄・消毒の徹底)
  - 専用の衣服および長靴の着用、手指消毒等を徹底
  - 野生動物の侵入防止対策(防護柵や防鳥ネット)
  - 畜舎の壁・天井等に穴や破損箇所、隙間等がないか再点検し、不備があれば直ちに補修
- ④ 飼養家畜の健康観察は毎日行い、異状を認めた時は速やかに家畜保健衛生所へ連絡

